

クリーンプラザよこて整備事業の進捗状況について

○事業者選定の状況

1) 入札関係

民間事業者の選定は、公平性・透明性を確保し、価格だけでなく維持管理・運営サービス・技術力を総合的に評価する総合評価一般競争入札で実施しました。

- 実施方針の公表 平成 24 年 7 月 24 日
- 入札公告 平成 24 年 10 月 1 日
- 入札参加表明書等の受付 平成 24 年 11 月 14 日
- 事業提案書（入札書含む）受付 平成 25 年 1 月 29 日
→ **市内事業者を含む 2 グループから提出**

2) 事業者選定審査委員会の審査

市がクリーンプラザよこて整備及び運営事業を、PFI 法の趣旨に基づく公設民営方式（DBO 方式）で行うにあたり、民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、学識経験者を含む選定審査委員会を設置し審査しました。

- 委員数 7 名
- 開催状況 平成 24 年 7 月 14 日に発足、平成 25 年 3 月 23 日まで計 5 回開催
- 審査方法 2 グループから提出された事業提案書を総合的に評価
価格点 40 点満点
非価格点 60 点満点（設計・建設業務、運営維持管理業務、事業計画について、市が求める水準（要求水準）以上の提案を評価）

3) 落札者の決定

審査委員会の選定結果を受け、平成 25 年 3 月 25 日の契約審査会で決定し、翌日午後 3 時に市ホームページで公表。

【落札者】 荏原環境プラントグループ

代表企業：荏原環境プラント(株)

協力企業：横手建設(株)、伊藤建設工業(株)、太平洋セメント(株)東北支店)

4) 落札者の提案概要

- 完成予想図は別紙のとおり
- 要求水準を上回る積極的な環境負荷低減対策と環境測定の実施
- 熱エネルギーの効率的な回収による高効率発電
- 設計・建設期間で 34 億円、運営・維持管理期間で 8.5 億円を市内企業に発注
- 施設稼働開始 5 年後には配置人員 34 人全員が地元雇用者
- 施設構内に桜、大屋梅、芝生等を植栽 等々

5) 今後の主な日程

- 基本協定締結 平成 25 年 4 月上旬
基本協定締結後速やかに、20 年間の運営維持管理を担う特別目的会社 (S P C)
設立準備に入ります。
- 仮契約締結 S P C 設立後 (平成 25 年 5 月中旬頃)
～ 議会の議決 (仮契約締結後速やかに議会に議案提出) ～
- 議会議決後の動き (※詳細は今後の業者協議によります)
 - ◆平成 25 年度
 - 施設設計・建築確認 (議決後～平成 26 年 3 月迄)
 - 造成工事
 - ◆平成 26 年度
 - プラント建設工事 (平成 27 年 9 月迄)
 - ◆平成 27 年度
 - 調整・試運転 (平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月迄)
 - ◆平成 28 年度
 - 新施設本稼働
- 搬入路の整備
北側搬入路 (市道大平線)
水田耕作に支障を来たさないよう、仮くろ等の整備を 4 月以降に行い、順次、
工事用道路として使用できるところまで整備 (完成は 27 年度)

南側搬入路（市道新藤柳田1号線）

25年度中に完成するよう事業を進めます。

■ 工事期間中の安全対策

施工者である荏原環境グループと、工事期間中の安全対策について協議を行い、

地元町内会等関係団体と工事協定書を取り交わす準備を進めます。

協定内容は、次回の委員会（6月予定）でご報告します。

○用地取得の状況

1) 建設予定地

取得面積 83,456.43㎡

※相続登記手続きに時間を要する土地3筆は賃貸契約（1,004.25㎡）

2) 搬入路

全体の約9割は契約済

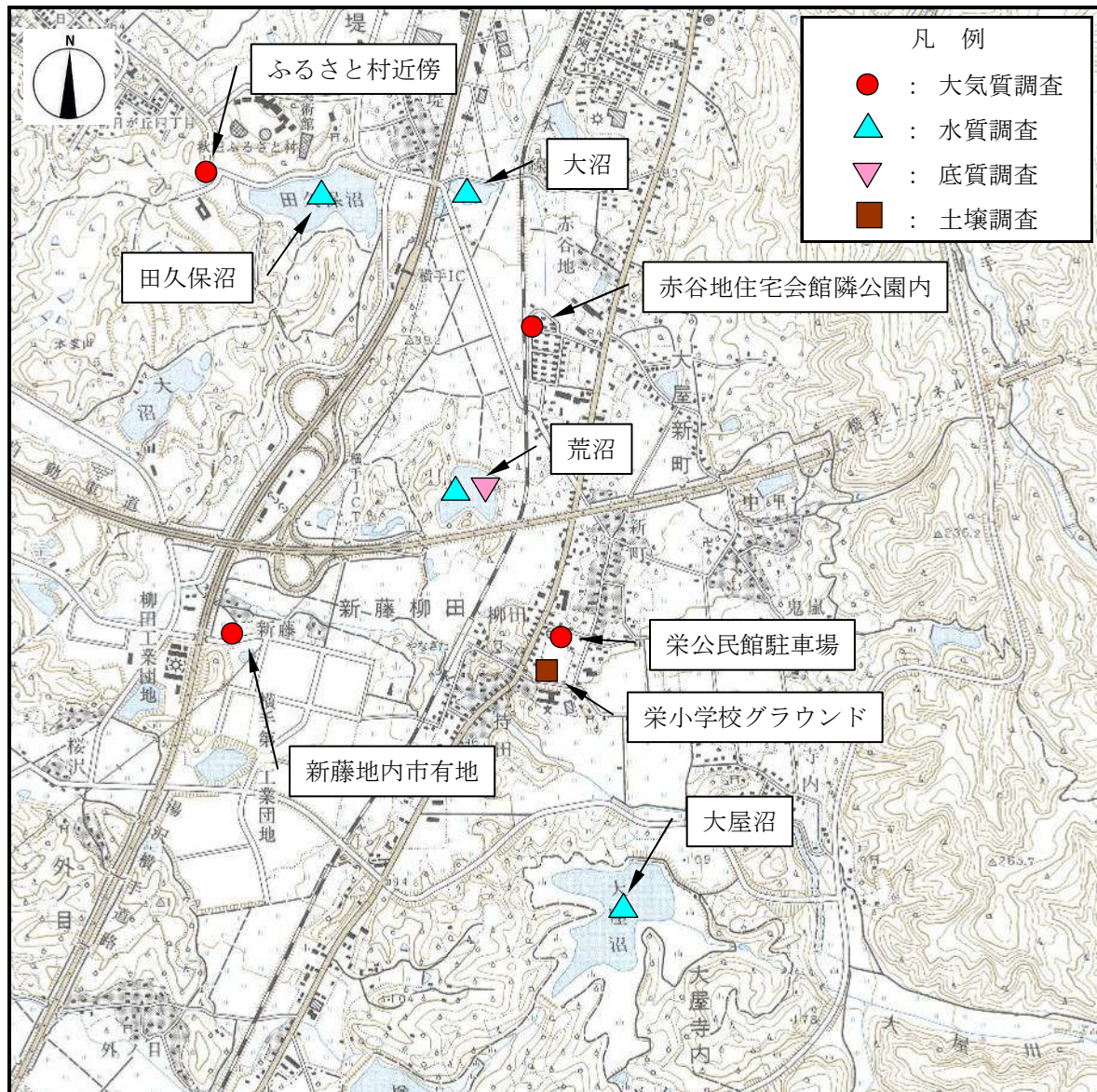
※残りは相続登記等の関係で未契約だが、近日中に契約予定

(1)平成 24 年度周辺環境調査結果について

平成 24 年度における周辺環境調査は、次の地点で大気質、水質、底質及び土壌調査を実施しました。

区分	調査地点
大気質	栄公民館、ふるさと村近傍、新藤地内市有地、赤谷地住宅会館隣公園
水質	大屋沼、荒沼、大沼、田久保沼
底質	荒沼
土壌	栄小学校グラウンド

【調査地点の位置】



1. 大気質の調査結果

大気質については、環境基本法に基づき環境基準が定められているいずれの項目も、全箇所環境基準を下回っていました。

【大気質】

調査項目 \ 調査場所 調査期間	栄公民館	ふるさと村近傍	新藤地内	赤谷地住宅	環境基準等 (日平均)
	[冬季]平成24年12月14日~20日				
二酸化硫黄(ppm)	0.000 (○)	0.000 (○)	0.000 (○)	0.000 (○)	0.04 以下
二酸化窒素(ppm)	0.009 (○)	0.005 (○)	0.008 (○)	0.011 (○)	0.04~0.06 以下
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.013 (○)	0.013 (○)	0.014 (○)	0.015 (○)	0.10 以下
塩化水素(ppm)	<0.002 (○)	<0.002 (○)	<0.002 (○)	<0.002 (○)	0.02 以下
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.014 (○)	0.017 (○)	0.013 (○)	0.017 (○)	年平均値 0.6 以下

注) ○内は環境基準等との適否 適合:○、不適合:×

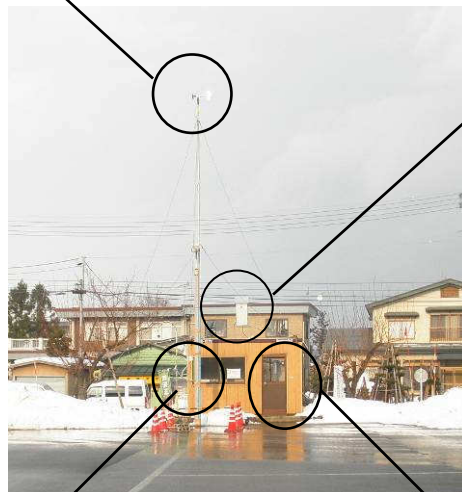
・塩化水素の基準は、環境基準が定められていないため設定した目標値



風向・風速センサー



ダイオキシン類採取装置



全景(栄公民館)



温湿度計



測定機器

2. 水質の調査結果

人の健康の保護を目的として定められた健康項目は、全箇所ですべての項目も環境基準を下回っていました。生活環境の保全を目的として定められた生活環境項目は、pH、COD、溶存酸素量、全窒素で環境基準を上回る箇所がありましたが、周辺環境に被害を及ぼす状況ではありませんので、今後も引き続き監視していきます。ダイオキシン類は、全箇所ですべて環境基準を下回っていました。

【水質】

調査場所	大屋沼		荒沼		大沼		田久保沼		環境基準	
	調査日	調査日	調査日	調査日	調査日	調査日	調査日	調査日		
健康項目	カドミウム	0.001未満	0.0003未満	0.001未満	0.0003未満	0.001未満	0.0003未満	0.001未満	0.0003未満	0.003以下
	全シアン	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	検出されないこと
	鉛	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01以下
	六価クロム	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下
	砒素	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01以下
	総水銀	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005以下
	アルキル水銀	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	検出されないこと
	PCB	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	検出されないこと
	ジクロロメタン	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
	四塩化炭素	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
	1,2-ジクロロエタン	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.004以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.04以下
	1,1,1-トリクロロエタン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	1以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
	トリクロロエチレン	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.03以下
	テトラクロロエチレン	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.01以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
	チウラム	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
	シマジン	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.003以下
	チオベンカルブ	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
	ベンゼン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
	セレン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.35	0.02未満	0.08	0.02未満	0.76	0.02未満	0.42	0.02未満	10以下
	ふっ素	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1	0.1未満	0.1	0.8以下
	ほう素	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1以下
	1,4-ジオキサン	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下
生活環境項目	水素イオン濃度 pH	6.6 (○)	7.2 (○)	6.3 (×)	6.4 (×)	6.9 (○)	7.2 (○)	6.2 (×)	6.9 (○)	6.5以上8.5以下
	化学的酸素要求量 COD	2.8 (○)	3.6 (○)	5.7 (×)	10 (×)	3.6 (○)	7.8 (×)	3.0 (○)	7.1 (×)	5以下
	浮遊物質 SS	1未満 (○)	1 (○)	1未満 (○)	11 (○)	4 (○)	13 (○)	4 (○)	13 (○)	15以下
	溶存酸素量 DO	9.3 (○)	8.6 (○)	6.5 (○)	4.8 (×)	12 (○)	8.3 (○)	5.1 (○)	5.0 (○)	5以上
	大腸菌群数	23	130	33	13000	3300	7900	7.8	4900	—
	全窒素	0.65 (○)	0.25 (○)	0.90 (○)	0.78 (○)	1.3 (×)	0.68 (○)	0.88 (○)	0.58 (○)	1以下
	全磷	0.041 (○)	0.015 (○)	0.032 (○)	0.062 (○)	0.049 (○)	0.088 (○)	0.022 (○)	0.069 (○)	0.1以下
	ダイオキシン類	0.063 (○)	0.052 (○)	0.10 (○)	0.054 (○)	0.065 (○)	0.18 (○)	0.18 (○)	0.21 (○)	1以下



採水状況（大屋沼）



採水状況（田久保沼）

注)・単位は、水素イオン濃度pH…なし、大腸菌群数…MPN/100mL、ダイオキシン類…pg-TEQ/L、その他…mg/L

・()内は環境基準等との適否 適合:○、不適合:×。健康項目は全て環境基準に適合しており、適・不適の表記を割愛した。

3. 底質の調査結果

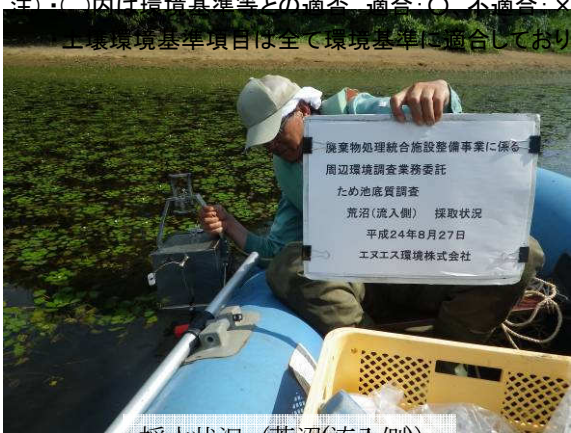
土壌環境基準項目は、両地点ともいずれの項目も環境基準を下回っていました。また、ダイオキシン類も、両地点で環境基準を下回っていました。

【底質】

調査項目	調査場所 調査日	荒沼(流入側)	荒沼(流出側)	環境基準
		〔夏季〕平成24年8月27日		
カドミウム (mg/L)		0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
全シアン (mg/L)		0.01 未満	0.01 未満	検出されないこと
有機燐 (mg/L)		0.1 未満	0.1 未満	検出されないこと
鉛 (mg/L)		0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
六価クロム (mg/L)		0.005 未満	0.005 未満	0.05 以下
砒素 (mg/L)		0.005 未満	0.005 未満	0.01 以下
総水銀 (mg/L)		0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 以下
アルキル水銀 (mg/L)		0.0005 未満	0.0005 未満	検出されないこと
PCB (mg/L)		0.0005 未満	0.0005 未満	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
四塩化炭素 (mg/L)		0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		0.0004 未満	0.0004 未満	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		0.004 未満	0.004 未満	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		0.001 未満	0.001 未満	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
トリクロロエチレン (mg/L)		0.002 未満	0.002 未満	0.03 以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		0.0005 未満	0.0005 未満	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		0.0002 未満	0.0002 未満	0.002 以下
チウラム (mg/L)		0.0006 未満	0.0006 未満	0.006 以下
シマジン (mg/L)		0.0003 未満	0.0003 未満	0.003 以下
チオベンカルブ (mg/L)		0.002 未満	0.002 未満	0.02 以下
ベンゼン (mg/L)		0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
セレン (mg/L)		0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下
ふっ素 (mg/L)		0.1 未満	0.1 未満	0.8 以下
ほう素 (mg/L)		0.1 未満	0.1 未満	1 以下
ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)		26 (○)	18 (○)	150 以下

注)・()内は環境基準等との適否 適合:○ 不適合:×

土壌環境基準項目は全て環境基準に適合しており、適・不適の表記を割愛した。



採水状況 (荒沼(流入側))



採水状況 (荒沼(流出側))

4. 土壌の調査結果

土壌環境基準項目は、いずれの項目も環境基準を下回っていました。また、ダイオキシン類も、環境基準を下回っていました。



全景（栄小学校グラウンド）



採取状況

【土壌】

調査項目	調査場所 調査日	栄小学校グラウンド		環境基準
		〔冬季〕 平成24年2月10日	〔秋季〕 平成24年11月7日	
カドミウム (mg/L)		0.001未満	0.001未満	0.01以下
全シアン (mg/L)		0.01未満	0.01未満	検出されないこと
有機燐 (mg/L)		0.1未満	0.1未満	検出されないこと
鉛 (mg/L)		0.005未満	0.005未満	0.01以下
六価クロム (mg/L)		0.005未満	0.005未満	0.05以下
砒素 (mg/L)		0.005未満	0.005未満	0.01以下
総水銀 (mg/L)		0.0005未満	0.0005未満	0.0005以下
アルキル水銀 (mg/L)		0.0005未満	0.0005未満	検出されないこと
PCB (mg/L)		0.0005未満	0.0005未満	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		0.002未満	0.002未満	0.02以下
四塩化炭素 (mg/L)		0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		0.0004未満	0.0004未満	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		0.002未満	0.002未満	0.02以下
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		0.004未満	0.004未満	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		0.001未満	0.001未満	1以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
トリクロロエチレン (mg/L)		0.002未満	0.002未満	0.03以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		0.0005未満	0.0005未満	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
チウラム (mg/L)		0.0006未満	0.0006未満	0.006以下
シマジン (mg/L)		0.0003未満	0.0003未満	0.003以下
チオベンカルブ (mg/L)		0.002未満	0.002未満	0.02以下
ベンゼン (mg/L)		0.001未満	0.001未満	0.01以下
セレン (mg/L)		0.001未満	0.001未満	0.01以下
ふっ素 (mg/L)		0.2	0.2	0.8以下
ぼう素 (mg/L)		0.1未満	0.1未満	1以下
ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)		0.51 (○)	0.39 (○)	1,000以下

注) ()内は環境基準等との適否 適合:○、不適合:×

・土壌環境基準項目は全て環境基準に適合しており、適・不適の表記を割愛した。

(2)平成25年度周辺環境調査計画について

平成25年度においても24年度と同地点で調査し、クリーンプラザよこて稼働前の環境状態を観測していきます。

交通安全対策の検討状況について

○25年度の整備予定箇所

- (1) 市道堤美砂古線の整備 (①)
踏切から搬入路入口付近までを拡幅整備します。24年度に路線測量を行いました。下記(2)の進捗と調整しながら事業を進めます。
- (2) 高速道インター出口交差点の改良 (②)
施工予定区域にある大沼の測量調査を24年度に行いました。現在は調査結果に基づいて、地元水利権者のみなさんと協議するための準備をしています。
- (3) 市道大平線(北側搬入路)の整備 (③)
25年度は工事中道路として使用できるところまで簡易に整備します。
- (4) 市道新藤柳田1号線(南側搬入路)の整備 (④)
25年度中に完成させる予定です。住宅地には歩道を設置します。
- (5) 栄地区町内の通学路・生活道路の整備
25年度の工事予定箇所
中野団地6・7号線(⑤)、平林寺内線(⑥)、外日本線(⑦) ほか

○交通安全協会栄支部役員との協議状況

- 第1回協議 平成24年8月3日(金)(さかえ館)
- 第2回協議 平成25年3月16日(土)(さかえ館)
- (a) 国道13号美砂古交差点への歩車道分離信号機設置 (⑧)
横手警察署担当課と協議したところ、地元町内会等から警察署長あてに要望書を提出してほしいとのことであり、支部と協議を継続していきます。
- (b) 同交差点信号柱(電信柱)移転
移転の可否について横手警察署と協議中です。
- (c) 県第二工業団地内交差点への「止まれ」看板の設置 (⑨)
支部と内容を協議したうえで設置していきます。この他にも、啓発看板の掲示が必要な箇所があれば、申し出をいただくことにしています。
- (d) フルーツラインから大屋寺内町内を通り抜ける車両対策 (⑩)
現状は、大型車両のみの通行規制であり、新たに規制を要望する場合は地元住民の同意が必要となります。引き続き支部と協議を進めますが、実態把握のため25年度に朝夕の交通量を調査します。
- (e) 大堤町内入口交差点への信号機設置 (⑪)
地元の要望が重要なので、(a)と同様支部と協議を継続していきます。

ただし、信号機新設には相応の時間がかかるので、通勤や買物などで町内を通り抜ける車両対策として啓発看板の設置等を検討します。

○その他

これまで整備した箇所

- 市道美砂古新町線（改良）(12)
- 中野団地内市道（舗装・側溝）(13)
- 市道柳田駅前線（舗装）(14)
- 市道平林寺内線（舗装）(15)